

「(仮称) 滋賀の県立高等学校魅力化プラン」の検討に係る地域別協議会

湖東地域 結果概要

1 会議の日時等

開催日時 令和4年10月25日(火) 15:00~16:35 (湖東合同庁舎1-C会議室)

市町	氏名			
彦根市	馬場敬人	小坂英司	北村 功	松山敦司
愛荘町	西川傳和	田中幹雄	西澤朋宏	
豊郷町	山田篤史	大和高成	福田 圭	
甲良町	熊谷裕二	寺田喜生	清岡可奈子	
多賀町	野村 博	吉田 克	重田清隆	

(敬称略)

◇滋賀の県立高等学校の魅力化について

2 出席者からの主な意見

①	全県一区制度によって、通学可能でかつ魅力ある高校を探すという視点から進路を考えるようになった。高校での学びを通して進路実現を目指すことは、非常に大事なことだと思う。人と人とのつながりを大切にし、地域とともに人を育てていく観点から、「地域に根差した高校づくり」によって、生徒たちの心を動かすアプローチがほしい。
②	JR沿線に住む中学生にとっては、全県一区制度は魅力的な制度だが、駅から遠方に住んでいる中学生にとっては、近場で通いやすい高校を選択せざるを得ない現状がある。
③	中学生は、高校では高い専門性を求めている。将来を見据えて専門的な学習をしたいと考えている生徒は多いので、それぞれの高校が自校の特色ある学びをしっかりと発信してくれると、中学生にとって志望校が選択しやすい。あわせて、高校生活において、生徒たちの特性を活かせる場面も考えてほしい。
④	技術革新が進んだ現代において、最新の学習施設・設備を充実してほしい。
⑤	湖北地域の生徒が、県南部の高校に流れている傾向がある。湖北地域の各高校の持ち味を生かして、魅力的な高校づくりを進めてほしい。
⑥	中学校では、不登校や不適應を起こす生徒たちのことが課題になっている。これらの生徒の多くが高校に進学していくが、その後、なかなか高校になじめない者もいる。高校入学後に挫折した生徒が、再チャレンジして力を発揮できるセカンドチャンスのある場を作ることも大切ではないか。
⑦	現在、中学校では不登校の課題が大きい。県立の通信制高校は大津清陵高校だけで、湖東・湖北地域からは通いにくい立地にある。不登校生徒の多くは、週1回程度のスクーリングであっても通学が難しいことから、湖東・湖北地域にも県立通信制高校があるとありがたい。湖東・湖北地域では、私立通信制高校に頼らざるを得ない現状がある。
⑧	中学校では、予測不可能な時代において、それぞれの生徒の特性を生かした高校選択ができるように進めていきたい。
⑨	それぞれの高校が、特色ある取組をしていることを知った。各高校の魅力の周知活動に、しっかり取り組むべきではないか。
⑩	高校の魅力は偏差値だけではない。高校が持つ偏差値以外の魅力発信に力を入れてほしい。
⑪	それぞれの高校の魅力ある取組を地域イベント等の場で披露することは、地域活性化だけではなく、中学生や保護者、地域の方々への高校の魅力発信にもつながると思う。

⑫	専門性が高い学びは、高校卒業後の進路も保障されていくと思うが、指導者や教育環境の整備等が必要になる。全ての県立高校でそれを実現させるのは難しいが、専門性の高い学びを目指した高校づくりを進めてほしい。
⑬	私学では、スクールバスを走らせて通学しやすい環境整備に取り組んでいる。交通の便が良くない地域に住む中学生にとっては、県立高校でもスクールバスを走らせてくれると県立高校の選択の幅が広がると思う。
⑭	県南部の高校を志望する生徒が多い現状は、湖東・湖北地域の高校の存続という話になると、ある程度の県南部の高校の絞り込みは必要ではないか。
⑮	今後、彦根翔西館高校や長浜北高校のように、統廃合を含めた新設校設置の計画はあるのか。民間企業では、新しいことをする上で「選択と集中」「スクラップ&ビルド」によって次のステップを目指していくことがある。全ての県立高校の魅力化を図るということは「底上げ」ということになるが、退職する先生方が増えてくる現状では、学校運営に支障が生じることもある。魅力化プランを具体化していくのであれば、「選択と集中」は必要ではないかと思う。
⑯	虎姫高校のバカロレアの学びは、高校の特色ある学びのいい例だと思う。湖東地域の高校にも特色ある学びを設置してくれれば、湖東地域の県立高校の魅力化になる。
⑰	私学と生徒を奪い合うのではなく、情報共有しながら共存する「滋賀スタイル」を構築してほしい。
⑱	多くの中学生は、それぞれの高校の特色をはっきり知らないまま進学先を決めている。高校、中学校、保護者が連携して、それぞれの高校が持つ特色・魅力を伝えていきたい。
⑲	人が人口の多いところに憧れを持って向かうことは当然のことで、生徒が県南部の高校を志望する現状は止められない。それに逆らうだけの魅力を高校だけに求めるのは酷なこと。湖東・湖北地域の高校は、努力して魅力ある高校づくりに取り組んでいるが難しい。湖東地域の良い文化を学び、受け継ぎ、湖東地域で力を付けてほしい。
⑳	他府県では、全国募集を実施している高校がある。それぞれの高校の魅力を、どれだけ周知できるかが重要になる。
㉑	全県一区制度によって高校選択の幅が広がった状況においては、小中学校の段階から自己実現に必要な力を育成する必要があると感じている。小中学校教職員の研修の機会の確保が必要と考えている。
㉒	高校の魅力化は学校が与えるものなのか、生徒たちと一緒に作り上げるものなのか。魅力化プランに取り組みながら、生徒たちとともに高校の魅力を高めてほしい。
㉓	中学生の高校選択において、通学距離は大きなウエイトを占めている。滋賀県全体の高校教育の発展を考えて、地域間のバランスが取れた魅力化プランを作成してほしい。
㉔	高校では、生まれ育った地域で学んで生きていくことのかっこよさや、幸せの在り方を伝えてほしい。あわせて、地域のまちづくりにもつなげてほしい。
㉕	知事は北部振興を掲げている。若い世代が湖東・湖北地域に残ってもらい、地元地域で活躍できる人材育成をお願いしたい。
㉖	進路を選択する段階で地域外へ転出した人が地域に戻ってくるような仕組みづくりのため、地域の魅力化と高校の魅力化を掛け合わせていく必要がある。そうしたことが高校の存続や地域振興につながっていく。市町に高校があることは強みである。
㉗	大学なら、地域連携センター等が市町と大学が連携した取組を仲介してくれる。同様に、高校と地域をつなげる仕組みがあれば、高校と地域との連携した取組がさらに進むのではないか。
㉘	この魅力化プランを実現することで、魅力ある高校、そして大学・企業等で学んだ知識やノウハウを生まれ育ったまちに貢献できる人材育成につながれば素晴らしいことだと思う。

※発言順不同